

看護学科 第6回絆会開催

5月29日（金）大田原キャンパス那須アスリーナ2階の学生ホールにおいて、看護学科絆会が開催されました。看護学科主催で行われるこの会も今年で6回目となりました。



同窓生と在学生在が同じテーブルを囲み、卒業生の乾杯を合図に和気あいあいとした交流会が始まりました。

懐かしい教員



に手を振りながら受付をする卒業生の姿や、やや緊張した面持ちで先輩にジュースを注いでもらう在学生の姿が見られ、短い時間ではありましたが参加者98名が楽しい時間を共有し、絆を深めることができました。

今年度着任された坪倉繁美学科長の挨拶、同窓会代表王麗華さん（看護学科1期生）の挨拶が続き、飲食を楽しみながらの歓談の時間が設けられ、次いで第1期生、NPO法人友愛会理事長の吐師秀典（はしひでのり）さん、第6期生、国際医療福祉大学教員の郷原志保さんの講演が行われました。

病院はもちろんそれ以外でも求められる看護師の能力や現場での思いを自身の体験から分かりやすくお話いただき、全員が講師の次の一言に集中して聞き入る姿が印象的でした。

★吐師秀典さん講演テーマ「看護が『病気』ではなく『人』をみていくものであるために」

★郷原志保さん講演テーマ「今までの私これからの私」

お忙しい中貴重な講演をありがとうございました。

